

令和7年度第3回倶知安警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年12月15日(月) 午後1時29分から午後2時57分までの間

2 開催場所

札幌方面倶知安警察署 会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 6人 (定員8名)

会長 高木 智美
副会長 首藤 一幸
委員 佐竹 三郎
委員 藤堂 智子
委員 中野 ゆう子
委員 藤澤 祐二

(2) 警察署 7人

署長 忠石 雅康
副署長 岡部 昇
警務課長 住瀬 登 (庶務担当)
生安課長 福士 大介
刑事課長 玉川 努
交通課長 及川 光康
警備課長 浜出 真人

4 協議会内容

(1) 開会

(2) 倶知安警察署協議会 会長挨拶

(3) 倶知安警察署長挨拶

(4) 業務概況説明 (令和7年11月末)

ア 刑法犯の認知状況

イ 警察安全相談等の受理状況

ウ DV・ストーカー・児童虐待事案の取扱状況

エ 人身交通事故の発生状況

オ 主要な事件検挙、交通死亡事故 (令和7年9月から11月)

(5) 話題

ア 「ヒグマ」駆除、緊急銃猟について (生活安全課長)

イ 交通死亡事故、交通安全 (交通課長)

(6) 質疑・応答

ア 質疑・応答1

【委員】

熊の関係についての質問です。

今年は全国的に熊の出没目撃等のニュースを見ることが多いです。

猟友会の人達の高齢化や人手不足になっている中で、猟友会だけではなくて警察の拳銃や自衛隊のライフル銃によって、熊の捕獲ができるようにした方が良いのではないかというニュースを見ました。

そういうことの検討はされているのでしょうか。

【署長】

警察署自体で検討しているわけではありませんが、緊急銃猟等が出来ない場合や、様々な諸条件が揃った際に、機動隊が出動して各種資機材で捕獲するということも検討されていると聞いております。

【委員】

わかりました。ありがとうございます。

イ 質疑・応答 2

【委員】

ニセコヒラフ地区は、これから季節、日に日に外国人が多くなると考えております。

そのような中で、冬のスキー場の野外でも音楽イベントが多くあり、泥酔した外国人や、喧嘩になって負傷した外国人が、付近の病院に搬送されていることを見聞きし、怖い思いをした記憶があります。

俱知安警察署については、冬期間、特に忙しいとは思いますが、防犯や取締りの方にも力をいただけすると住民として安心できます。

【署長】

当署の特徴としまして、冬期間、外国人旅行客が激増することで、管内自体の人口が一時的に増え、それに伴って刑法犯を含めた事件や交通事故が増えますが、ニセコひらふ臨時交番の開設や、警察本部員の応援派遣を受けて、少しでも管内の住民の方が安心できるように署員一同邁進していきます。

ウ 質疑・応答 3

【委員】

自動車運転免許に関し、今年10月から、外国人の方が自国の免許から日本の免許に切り替えるのにルール変更があったと認識していますが、その制度について教えてもらえませんか。

【交通課長】

10月から始まった変更点について説明します。

日本人が受験する本来の学科筆記試験は、運転に関する問題数が多いです。

外国人の方が切り替えるためには、10月までは、10問、イラスト付きで「これは『止まれ』ですか」というようなレベルの問題で、比較的簡単に日本の運転免許を与えるという制度でした。

それが、ここ最近において某県で発生した外国人運転手の逆走事故などを受け、外国免許からの切り替え制度を日本人が運転免許を取得するレベルと同程度難しくしようというのが10月からの制度になります。

それと併せて、短期滞在される外国人は取得できない制度となっています。

【委員】

わかりました。ありがとうございます。

5 次回の開催予定等

(1) 開催日 令和8年3月（令和7年度第4回）

(2) 議題 ニセコひらふ臨時交番の取扱いについて、災害対策について等